

題材名『ふしぎなふしぎなたねのおはなしつくってみたよ』

(全4時間)

〔題材について〕 ※ PR文「ふしぎなたねのお話の絵本をつくって、友だちに聞かせてあげよう！」

- 種をまいたり、種の絵本を読んだりした経験をもとに、自分なりの種のお話を楽しんで表すことができる。
- 感じたことを話したり、友だちの作品を見たりするなどして、その作品のよさに気づく。

- 〔本時のめあて〕◎ 自分のイメージする絵本にあった用紙を選び、自分なりの種のお話を考えて絵に表そう。
- ◎ ふしぎなふしぎな種のお話を心をこめて、いっしょけんめいにつくろう。

本時の展開（全4時間 本時1／4）

学 習 活 動	教 師 の 支 援（☆個別支援アイテム）
1 本時の学習内容を知る。 ・題材名やめあての確認	○読み聞かせた絵本を見せながら、今度は自分たちでふしぎなたねの絵本をつくることを知らせる。
2 自分がイメージする絵本にあった用紙を選び、絵本の形を作る。	○4色の色画用紙の中から、用紙を自由に選ばせる。 ☆絵本の形（二つ折り、四つ折りのたて、四つ折りのよこ、長くつなげる等）の見本を用意し、自分のイメージにあった絵本の形を作らせる。
3 種のお話をかく。	○文字のない絵本にして、絵を見ただけでどんなお話かよく分かるようにかくことを話す。 ○ピグマペンで線がきをし、色鉛筆で彩色させる。

〔成果と課題〕・・・ヒット題材にするためには？

- ・生活科の学習で大豆の種まきをしたり、国語科「たんぼぼ」単元学習後にこの授業をおこなったり、何冊かの種の絵本を事前に読み聞かせしたりしたことは、児童に「自分だけの種のお話をつくりたい」という意欲を高める効果があった。
- ・どんなお話を書かせたり、友だちに読み聞かせたりする時間は、絵に表したお話がどんどんふくらんで、教師が予想していたより長くかかったので、国語科の授業として組み込んだ。

写真・資料

